

V I E W

No. 109

発行責任者 湊 伸一

発行編集者 教 宣 部

関西支社長の「職場点検」も台無し！

「安全最優先」が聞いて呆れる！

大阪交番検査車両所で「不安全な事象」が発生！！

7月17日、大阪交番検査車両所では関西支社長による「夏季輸送の職場点検」があり朝の点呼で「訓示」もいただきました。

その日のP交（午後のかかり・1日3本施工する内の2本目の交検）の作業開始の放送を待っているタイミングで交検庫の西方からE交（3本目の交検）の列車が隣の番線に入線してきました。いつもはP交開始の12:15の5分前の12:10頃には列車の留置が終わっているのですが、この日は庫内で作業者がいる状態での入線となりました。

気付いた西方にいた社員や、社員から連絡を受けた「班長室」からも放送はありましたが現場管理者からの「指示」は一切ありませんでした。P交作業は列車の入線を待って約5分遅れでの開始となりました。近くにいた管理者に尋ねたところ「（列車が遅れて入線するという）連絡は一切来ていなかった」ということでした。終了点呼で管理者から「関西支社長の職場点検の講評」の話はありましたが「この件」については一切触れませんでした。「他所での直前横断」でも点呼で周知するのに、P交作業の開始も遅れているのに、誰の指示で触れないのかは解りませんが日頃から「安全最優先」を言いながら、管理者としての資質を問われます。

現在職場では新入社員も多く配属されて、見習いにもついています。「作業中の交検庫に作業者を待避させず列車を入線させる」という一歩間違えば触車事故という今回の件に触れようとしない会社の「姿勢」について社員のみなさんはどう感じますか？！